

## 「まほろば亀岡かわひがし」 ウォークラリー延期

新型コロナウイルスの拡散していることを考慮して、2月29日(土)に予定していた第1回ウォークラリーを延期しました。

この取り組みは、亀岡駅北(京都スタジアム)と千代川駅東(保津川下り新乗船場)を結ぶ、川東4町の歴史・文化・自然・食材等の豊富な資源を活かした散策ルートの整備による観光振興等を核にして地域活性化を目指す川東4町にとって、訪れる人たちに対する「おもてなし」を如何に充実させることが出来るかがポイントとなります。

そのためには、そこに住む我々自身が地域の多くの資源を熟知し、誇りを持って暖かくお迎えできるかどうか重要だと考え、地域を直接散策するウォークラリーを今年から3~4回実施していくものです。改めてご案内しますので、その際には積極的な参加をよろしくお願いいたします。

## 平成31年 令和元年度 自治会運営へのご協力に感謝

平成から令和への記念すべき年に、正副区長様、隣組長様、各種団体の関係者の皆様、そして町民の皆様には力強いお支えをいただき、平成31年度・5月からは令和元年度の自治会の様々な取り組みを滞りなく実施することが出来ました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

様々な自治会行事や協力依頼への対応等により、お気づきになられた点は、遠慮なく申し出て下さい。建設的なご指摘につきましては改善するように努め、少しでも住みよいまちづくりを目指して頑張っております。

正副区長・自治会議員合同会議  
令和2年3月8日開催(マスク着用)



- 編集委員長 中澤基行  
副委員長 中川俊和  
委員 中澤一美  
委員 八木千賀子  
委員 河原朋美  
委員 人見和男

**編集後記**  
令和元年度末になり、桜のつぼみが膨らむころ、そんな中コロナウイルスで日々の生活リズムは混乱。時の変化に困惑する日々を感じるこのごろです。  
馬路町の行事にも変更、縮小等が多くなることを懸念されますが、はやく通常に戻れることを望み、東京オリパラを楽しみにしています。  
読んでもらえる紙面づくりに取り組んでいきます。ご意見、感想等をお寄せください。

## ふれあいサロン

2月7日(金)令和元年度最終の第6回ふれあいサロン「神ひろみショー」を開催しました。

例年通りの華やかな衣装を身につけ、張りのある歌声と軽妙なトークで大勢の来場者を楽しませて頂きました。また、畑良人さんの甘い歌声も素敵でした。

3B体操の皆さんには、心身のリフレッシュをさせていただきました。令和2年度も、色々と工夫をこらした企画を計画していますので、多数のご参加をお待ちしています。

(野々村 桂)

三味線ブギウキにのり  
手拍子リズムミカルに!



華やかでムード満点



熱唱中!!



## 今後の行事予定

令和2年4月~6月

- ・4月 5日(日) 消防団入退団式
- ・4月 19日(日) 戦没者慰霊祭
- ・4月 25日(土) 自治会議員会議(決算審議)
- ・5月 10日(日) 自治会議員、正・副区長、隣組長合同会議
- ・5月 24日(日) 体振ふれあいソフトボール大会 [雨天5月31日(日)]
- ・6月 未定 川東地区人権啓発推進協議会総会
- ・6月 21日(日) 第5回町民グラウンドゴルフ大会(少雨決行)



発行者：馬路町自治会 令和2年3月19日 亀岡市馬路町流川2-1 (TEL:0771-22-0661) 印刷：(株)天声社

### 自治会長あいさつ

重篤な肺炎を引き起こす恐れのある新型コロナウイルスの感染拡大が、今だ沈静化の兆しが見えない中ではありますが、この新型コロナウイルスの今日のまん延は初動対応のまづさに大きく起因していることとあります。

この初動活動の重要性は火災や風水害等有事の際に、町民の皆様と連携した災害初動時の適切な活動により、被害を最小限に食い止められることに見られます。

その最前線に立ち、防火防災・安全安心の要として、日々生業を持ちながら活動してもらっているのが、地元消防団の皆様方です。

しかしながら今、このボランティア活動の最たる消防団活動に携わる団員不足が深刻化し、その確保が社会問題となっております。

そうした中、亀岡市消防団員900人を束ねる

重責を担う団本部の団長・副団長候補として、前馬路分団長の中野弘基長林寺住職に白羽の矢が立ちました。

長林寺は亀岡市の中でもトップクラスの檀家数を抱えることから、住職と団本部との兼務については、それぞれの責務をしっかりと果たせるのか等の懸念する声が強くなるのも事実です。

このことに対する私個人の見解としては、市民の安全安心のために欠かすことの出来ない亀岡市消防団活動をリードする、団本部を務めようとする中野住職の社会貢献活動を、檀家の皆様が大きな観点から理解し支え合うことを通じて、より地域の繋がりと・絆が深まり、結果として「あえて困難な中に身を乗り出す」この貴重な経験が、中野住職の間力をより大きくすることとなり、檀家としても地域にとってもこの上なく有益で誇るべきことではないかと考えます。

## 川東4町住民とパーフェルサンガソフト担当者との意見交換会

多くのスタジアムの中でもトップクラスの「京都スタジアム」ですが、昨年十二月末時点では、このスタジアムをホームグラウンドとするサンガ応援へのボルテージが全く上がらず、各町自治会も住民のサッカー熱を上げるのに四苦八苦していた状況でした。

そのため、いわば地元中の地元でもある川東四町が一体となって、他町に先駆けて、川東サッカー教室の生徒(現在48名)・保護者も交えて、サンガのフロント・コーチ等との住民意見交換会を1月18日(土)亀岡川東学園ホールで行いました。京都スタジアムが常にお客さんでいっぱいにするためには、何といつても、まずはサンガが強くなるのが第一。加えて選手の最大のエネルギー源となるのが住民の応援の力。サンガが強くなれば京都スタジアムも満席が続き、その恩恵を最も受けるのが川東地域。サンガとまさに運命共同体であるとの認識でしっかりと熱い応援をしましょう。



フロントの説明に集中



サンガコーチの指導に集中